

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会
令和2年度事業計画書

■ **公益事業**

1、クラシック音楽普及事業（定款第4条第1号関係）

クラシック音楽の普及と振興に向けて、以下の活動を実施する。

- (1) クラシック音楽ファンの固定化・高齢化を踏まえ、若年層やライト層を中心とした新たな観客層の掘り起こしに向け、スマートフォンを活用したコンサート情報アプリ〔クラシックラシック〕を運営し、コンサート会場におけるチラシ配布と共に、相乗効果による集客拡大を図る。〈継続事業〉
- (2) 観客のマナー向上に向けた「スマイル&ハーモニーキャンペーン」を春のコンサートシーズンにあわせて協会ウェブサイトを通じて展開する。〈継続事業〉
- (3) クラシック音楽の敷居を下げ、裾野を広げる活動として会員の実施する屋外でのクラシックフェスティバルに協力して推進する。〈継続事業〉
- (4) 協会の象徴的な普及活動としてクラシック・アワード（仮称）の創設に向けたワーキンググループを立ち上げ2021年度の開催に向けた準備を行う。〈新規事業〉

2、音楽関連人材育成事業（定款第4条第1号関係）

クラシックコンサート界の人材育成と、音楽事業の推進発展のために下記の事業を行う。

- (1) 会員研修会及び経営懇談会、シンポジウムの実施。〈継続事業〉
- (2) 昨年度策定した「公演中止・延期、キャンセル対応事例集」を元に、協会としてのガイドラインの策定に向けた検討委員会を立ち上げ、業界の基盤整備を図る。〈継続事業〉

3、アーティスト連携事業（定款第4条第1号関係）〈継続事業〉

全国の公共ホールや教育機関等にアーティストの派遣を行い、アウトリーチやワークショップと連携したコンサート活動を推進し、地域における芸術文化活動の振興を図る。

- (1) 地域創造の実施する公共ホール音楽活性化関連事業に制作協力する。
- (2) 関連団体や教育機関との連携協力事業。

4、情報収集発信事業（定款第4条第1号関係）

音楽事業発展のために必要な調査研究を行い、業界・楽壇・音楽教育界等に情報提供や提言を行い音楽文化の発展に寄与する活動を行う。

- (1) クラシック音楽事業ガイドの発刊（隔年）と広報誌（季刊）の発刊〈継続事業〉
- (2) クラシックコンサート市場調査（仮称）を実施し、業界の基礎データを収集活用し、クラシックコンサート産業の理解促進と社会的認知の向上を計る。〈新規事業〉

5、音楽文化振興事業（定款第4条第2項関係）〈継続事業〉

音楽文化産業発展のための諸制度の整備及び提言を行う。

- (1) 文化芸術推進フォーラム（文化芸術振興議員連盟と共同で文化行政へ提言）
- (2) 日本音楽芸術マネジメント学会（人材育成・調査研究に向けた産学連携の推進）

6、国際交流事業（定款第4条第2項関係）〈継続事業〉

国際交流により、我が国の音楽文化の発信及び相互の質的向上を図ることを目的とする活動を行う。

- (1) F A C P [アジア文化芸術交流促進連盟] の年次総会の開催に協力する。
- (2) 欧米の関連団体 [国際アーティストマネジメント協会] との交流を推進する。

7、企業イベント制作事業（定款第4条第3項関係）〈継続事業〉

会員及び関係団体の事業拡大及び社会貢献のために以下の事業を実施する。

- (1) 宝くじ文化事業
- (2) その他依頼事業